

いしおか

市議会だより



第4回定例会

今泉市政スタート

就任後初の議会で所信表明

一般会計補正予算など

市長提出議案67件を可決

2～3ページ

一般質問

17人が登壇

4～9ページ

議案質疑

10ページ

常任委員会の活動

11ページ

請願・陳情の概要と結果

12ページ

就任後の初議会で 今泉新市長が所信表明

12月3日から12月18日に開催した平成25年第4回定例会では、会議の冒頭に今泉新市長の所信表明が行われました。また、「平成25年度石岡市一般会計補正予算」など追加議案も含め、合計67件の議案が提出されました。（3ページ参照）

●新市長が所信を表明

就任後初の議会となった今泉市長から「市民の皆様へのお約束として、かつてこの地域にあった賑わいと豊かさ、そして市民の誇りをとりもどすべく、まちづくりの旗印として『ふるさと再生』の6文字を掲げさせていただきますました。これまで市職員として培ってまいりました知識と経験を生かし、市政発展と福祉向上のために、誠心誠意、



所信表明する今泉市長

全力を尽くしてまいります。存在でございます。」との就任挨拶があり、続いて5つの政策方針が表明されました。

5つの政策方針（概要）

①各地域でのタウンミーティングの開催など「市民一人ひとりの声」を丁寧聴いていく。

②預かり保育や放課後子ども教室拡充など「子

育て応援プロジェクト」の制度設計をしっかりと行い、着実に進めていく。

③高齢者が生涯にわたる現役を貫き、何らかの形で社会に参画し続ける「生涯現役プロジェクト」を総合的に制度化し、進めていく。

④まちなか歴史ゾーン構想の推進や、里山観光構想の構築など「観光の振興」に加速をつける。

⑤無駄のない行政運営と財政健全化を推進するため「行財政改革大綱」を策定する。

●平成25年度の一般会計補正予算

補正予算額は、1億6179万9000円を追加して、補正後の歳入歳

出総額が293億9995万円となります。（年度当初の予算額は、286億5000万円）。

歳出の主な内容として、市長の給料月額を平成26年3月まで20%減額し111万円の減。本庁舎の被災度が中破となったため、来庁者や職員の安全確保に本庁舎の利用を平屋建て部分に限定し、機能の一部を八郷総合支所や既存の仮設庁舎等に移転する経費1482万3000円の増。新仮設庁舎の整備費用として549万2000円の増などです。

議案の審議結果

第4回定例会 ※第4回定例会（12月3日～12月18日）で審議した議案の結果は、次のとおりです。

議案番号	議案名	結果
議案第81号	平成24年度石岡市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第82号	平成24年度石岡市授産所特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第83号	平成24年度石岡市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第84号	平成24年度石岡市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第85号	平成24年度石岡市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第86号	平成24年度石岡市駐車場特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第87号	平成24年度石岡市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第88号	平成24年度石岡市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第89号	平成24年度石岡市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第90号	平成24年度石岡市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第91号	平成24年度石岡市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第92号	平成24年度石岡市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定について	原案可決及び認定

（下表参照）

●平成24年度の各会計決算を認定

平成24年度の各会計決算認定議案は、第3回定例会で決算特別委員会に審査付託されました。9月24日から26日の3日間に開催した決算特別委員会での審査を経て、第4回定例会の初日に、全ての議案が賛成多数又は全会一致で認定されました。

議案の内容は、石岡市議会ホームページで詳しく確認できます。

石岡市議会検索するか、次のURLを直接入力してください。 <http://www8.ocn.ne.jp/~ishioka/>

石岡市議会



議案の審議結果

第4回 定例会 ※第4回定例会（12月3日～12月18日）で審議した議案の結果は、次のとおりです。

議案番号	議案名	結果
議案第103号	平成25年度石岡市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第104号	平成25年度石岡市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第105号	平成25年度石岡市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第106号	平成25年度石岡市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第107号	平成25年度石岡市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第108号	石岡市民会館条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第109号	石岡市立学校施設使用条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第110号	石岡市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第111号	石岡市営駐車場条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第112号	石岡市職員再任用条例を制定することについて	原案可決
議案第113号	石岡市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の臨時特例に関する条例を制定することについて	原案可決
議案第114号	石岡市立学校施設使用条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第115号	石岡市民会館条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第116号	石岡市勤労青少年ホーム条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第117号	石岡市龍神の森キャンプ場条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第118号	石岡市海洋センター条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第119号	石岡市八郷総合運動公園条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第120号	石岡市運動広場等条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第121号	石岡市朝日スポーツ交流施設条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第122号	石岡市農村高齢者センター条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第123号	石岡市ふれあいの里石岡ひまわりの館条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第124号	石岡市介護保険条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第125号	石岡市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第126号	石岡市営墓地条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第127号	石岡市簡易水道事業給水条例等の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第128号	石岡市簡易水道事業分担金徴収条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第129号	石岡市地区ふれあいセンター条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第130号	石岡市ふれあい農園条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第131号	石岡市農業集落排水事業分担金に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第132号	石岡市多目的研修センター条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第133号	石岡市農業者トレーニングセンター条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第134号	石岡市常陸風土記の丘条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第135号	石岡市自然休養村センター条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第136号	石岡市国民宿舎つくばね条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第137号	茨城県フラワーパーク条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第138号	石岡市ふれあいの森条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第139号	石岡市ふれあい交流施設やさ温泉ゆりの郷条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第140号	石岡市体験型観光施設朝日里山学校条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第141号	石岡市つくばねオートキャンプ場条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第142号	石岡市都市公園条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第143号	石岡市下水道条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第144号	石岡市石岡地区都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第145号	石岡市八郷地区都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第146号	石岡市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第147号	石岡市営住宅管理条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第148号	石岡市水道事業給水条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第149号	石岡市火災予防条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第150号	指定管理者の指定について（石岡市南台コミュニティセンター）	原案可決
議案第151号	指定管理者の指定について（石岡市杉並コミュニティセンター）	原案可決
議案第152号	指定管理者の指定について（石岡市鹿の子コミュニティセンター）	原案可決
議案第153号	指定管理者の指定について（石岡市勤労青少年ホーム）	原案可決
議案第154号	指定管理者の指定について（石岡市農村高齢者センター）	原案可決
議案第155号	指定管理者の指定について（石岡市テニサーサービスセンター）	原案可決
議案第156号	指定管理者の指定について（石岡市特別養護老人ホームのぞみ）	原案可決
議案第157号	指定管理者の指定について（関川地区ふれあいセンター）	原案可決
議案第158号	指定管理者の指定について（三村地区ふれあいセンター）	原案可決
議案第159号	指定管理者の指定について（石岡市農産物直売センター石岡そだち）	原案可決
議案第160号	指定管理者の指定について（石岡市ふれあい交流施設やさ温泉ゆりの郷）	原案可決
議案第161号	指定管理者の指定について（柏原野球公園、柏原サッカー公園及び柏原球技公園）	原案可決
議案第162号	市道の認定について	原案可決
議案第163号	市道の認定について	原案可決
議案第164号	市道の変更について	原案可決
議案第165号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（谷島 洋司氏）	同意
議案第166号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（櫻井 信氏）	同意
議案第167号	監査委員の選任につき同意を求めることについて（出澤 純夫氏）	同意
議案第168号	石岡市及び事務組合公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて（横田 由美子氏）	同意
諮問第 3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（大和田 清美氏）	適任

ふるさと再生

心の豊かさを満たす空間作りを



あきら 昭

せき 関

問 東日本大震災以降、特に顕著になったのは、個人の価値観の変化です。カネ、モノの時代から、心の豊かさを求める価値観が高まりつつありますが、環境の変化や市民の価値観の変化をどのように認識されているのか伺います。

これからは、心の豊かさが満たされる空間となるような市街地が求められますが、中心市街地活性化構想の見直しがあるのか。また、ふるさと再生のための「子育て応援プロジェクト」「生涯現役プロジェクト」等の施策をまちづくりにどのようにつなげていくお考えが伺います。

答 石岡市を取り巻く環境は、予想を上回る人口減少などマイナス要因が強まる中で、朝日トネネルの開通やTX効果など、明るい材料も生まれています。市民の価値観の変化は、心の豊かさを求めるようになったと認識しています。中心市街地活性化は、これまでの商店街の活性化だけでなく、まちなかを歩く方が憩う環境づくりも大切であると考えています。私が公約で掲げた各プロジェクトで可能なものは、来年度当初予算に組み込んで提案したいと考えており、政策パッケージとして立案し、プロジェクトチームによる具体的な検討を進めてまいります。

その他の質問事項
●平成26年度予算編成の基本構想
●予算措置が予定(想定)される協定等

新市長の公約

子育て応援プロジェクトへの提言



まさ 正 豊 松 小

問 ふるさと再生のため、市長が掲げる「子育て応援プロジェクト」の中に位置付けて優先的に実行して欲しいことに、中学校卒業までの医療費助成制度があります。平成25年10月1日現在、県内44市町村のうち、26市町村が中学校卒業までの入院費と通院費の

医療費助成を行っていません。当市で既に実施している入院費に加え、通院費も含め所得制限を設けず到来年度から実施することをどうお考えか伺います。また、民間の学童保育にも公立と同じように、市で補助をして

いただき、全て公平に子育て応援を進めて欲しいと思います。お考えを伺います。

答 当市独自の医療福祉費支給制度の対象拡大は、生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的として、また、子育て支援の一環としてこれまで段階的に実施してきました。平成26年4月1日から、小学校卒業までの児童を対象に、入院費に加え通院費を含めた医療費助成の拡大を実施します。今後の対象拡大は、県内の動向も踏まえ、学童保育事業と合わせて「子育て応援プロジェクト」の中に位置付け、制度設計をしっかりと行い、実現に向けて検討していきたくと考えています。

その他の質問事項
●生活困窮者対策
●TPP参加撤退
●再生可能エネルギーの活用など

石岡かがやきビジョン

公約実現に向けた取組



すすむ 進 もと 本 山 やま

問 平成24年に当市の最上位計画として「石岡かがやきビジョン」が作成されました。この計画は、将来構想と行動計画の2層で構成され、目標と手段の関係が明確で分かりやすいことが、議会にも機会あることに示されました。

そこで、市長が選挙公約の原点とした「ふるさと再生」の構想を練るにあたり、石岡かがやきビジョンをどのように捉えたのか伺います。また、市長任期に連動した新たな行動計画の作成に際して、市長は選挙公約として「市民の声を生かします」「地域活性化と観光加速」「暮らしやすいまちづくり」「地域経済活

性化」の4項目の政策目標を掲げましたが、これらの実現に向け、どのようにお考えか伺います。

答 目指すべき将来構想である石岡かがやきビジョンは、地域経済情勢の大きな変化が生じた際に変更が必要となりますが、現時点では踏襲していきたいと考えています。そして、ビジョンの達成に向けて「ふるさと再生」の6文字を掲げ、効果的で無駄のない行動計画を策定します。効果的な事業展開を図るため、重点的に実施する事項を明らかにし、スピード感を持って取り組んでいきます。公約に掲げた内容は、平成26年度予算の中で、可能なことは予算化を図っていきたくと考えています。

行財政改革

事務事業の見直しによる財源確保



ひろ ち 千 増 徳

いとお考えがあるのか、伺います。

答 無駄削減の例として、書類の両面使用が挙げられます。これは、単に2ページの内容を1ページに収めるということではなく、印刷枚数を減らすことで、収納するスペースが2倍違ってくる。このような細かなことを無駄がないように配慮していくことも大切ですね。

問 市長は、市政懇談会で「無駄を無くし行財政改革に取り組み」と言っていました。市長が掲げる政策を実現するには財源の確保が必要ですが、仕事量が増え、これだけ職員数が減っている中、安易に職員給料の削減をすべきではありません。それは行財政改革ではないと思います。財源の確保には、事務事業を見直し、思い切った事業を廃止することも必要です。また、行財政改革大綱をつくるのであれば、財政に関して集中改革プランをつくらなければなりません。その際に、成熟しつつある事務事業評価制度を続けて

その他の質問事項
●庁舎建設 ●スピード感をもち市政運営すること ●人事評価と人員配置 など

一般質問

いっばんしつもん



いち 市 重 谷 塚

が、どのようにお考えか伺います。

問 石岡市は、人口減少や産業の停滞等により、苦境を乗り越えなければならぬ状況にあります。市長は、所信の中で地域活性化と観光の加速を、また「ふるさと再生」を掲げて当選しましたが、当市の進むべき広域観光の方向性と、観光振興策をどうお考え

原点に戻って見直しを

か。観光振興アンケート調査の結果では、交流型観光、おもてなし観光が必要施策の上位を占めています。市内に点在する観光拠点が自己満足になっていないか、もう一度原点に戻り見つめ直す必要があると思います

その他の質問事項
●具体的な観光行政のあり方・今後の進め方

答 当市は、多くの歴史的遺産と恵まれた自然環境を有していますが、新たな地域資源を発掘し、観光振興に生かしていくことが今後の課題です。歴史的遺産を活用したストーリー性のある観光メニュー開発や、中心市街地の商店街と連携したまちなか歴史ゾーン構想、里山体験ツアーの充実やトレッキングコースの開発などの里山観光構想を柱とした施策展開を図り、地元への愛着心と誇りを醸成しながら、波及効果が市内外に広がる観光振興を行いたいと考えています。また、おもてなしは大変重要なテーマであり、リピーターを増やすためにも、その心を醸成していく努力をしていきたいと思っています。

人口減少に対する歯止め対策

いかに転出者を減らすのか



やすし 泰 田 川

答 当市の人口減少は、少子高齢化による自然減に加え、転出による社会減が生じている状況です。若い人や働く世代が集まり、活気のあるまちの実現を目指したいと考えています。

問 石岡市の人口減少の特徴としては、20代から40代の働き盛りの年代の転出がその約6割を占めていることです。人口が減少することにより、税収減はもろろんのこと、活気が失われた寂しいまちとなってしまう。この1年間、石岡市の人口減少には一向に歯止めがかかっていません。いかに転出者を出さないかということが大きな課題のひとつであると考えています。

市長は所信表明の中で、子どもを生み育てる環境づくりを推進すると言いましたが、どのような対策をされるお考えか伺います。

その他の質問事項
●観光振興の加速化 ●トレイルラン大会への助成

経済施策

霞ヶ浦湖畔で花火大会の開催を



道の 泰上 村 村

問 観光事業につなげる新規事業として、霞ヶ浦湖畔で花火大会の開催を提案します。湖上を発射基地として、花火大会を開催しているのは、滋賀

答 本市には、高浜入り江や恋瀬川の桜づつみなど湖畔の美しい観光資源があり、観光メニューを増やし、市内の回遊性を高めるためにも、霞ヶ浦湖畔を生かした観光事業が必要であると考えます。霞ヶ浦湖畔では、他市でも花火大会を実施して、人気を博しています。江戸時代でいえば、大川、隅田川の花火が、大変民衆に喜ばれていました。霞ヶ浦湖畔の花火大会は、土浦の大きな大会との棲み分けが必要になると思いますが、大変重要なことであると認識していますので、観光メニューづくりのひとつとさせていただきたいと思います。

そこで、石岡市の自然資源を活用して、高浜地区を中心とした霞ヶ浦湖畔の観光事業の一端に、湖上火火大会を開催してはどうか。また、地域経済活性化のメニューとなる観光事業への取組を伺います。

その他の質問事項
●市民会館自主事業 ●福祉施策 ●子育て環境の充実 実施策



幸和 沼 菱

問 平成20年の国の調査によると、全国の空き家は757万戸、空き家率は13.1%と過去最高の割合となっており、近年もその傾向は顕著です。空き家問題としては、景観の悪化、防災や防犯機能の低下、ごみの不法投棄や悪臭の発生などが懸念されますが、

対策の専用窓口を設置すべきと思いますが、どのようにお考えか伺います。
答 近年の人口減少の中、市内には約4000件の空き家があり、大変深刻な問題と認識しています。現在、国では空き家に対して撤去を強制できる要件や、空き家を自主的に撤去する場合の固定資産税の軽減措置の導入などを主な内容とする、空き家等対策の推進に関する特別措置法案が議論されています。

空き家・空き店舗対策及び再生への取組 条例の制定と窓口の設置を

市内での空き家をどのようにお考えか。また、本市には3960件の空き家があり、そのうち1600件余りが老朽化しているとのこと。そこで、空き家等の適正管理に関する条例を制定し、空き家・空き店舗

その他の質問事項
●新市長の市政運営方針 ●教育行政 ●福祉行政 など

地域包括支援センターの拡充と地域福祉の充実 今後の行政サービス維持のために



男 孝 野 岡

問 人口減少、少子高齢化社会の中、高齢者福祉の窓口である地域包括支援センターの拡充は不可欠です。市長は、地域包括支援センターによる在宅介護への支援を強化すると公約されましたが、具体的にどうするのか。

答 市の例のように、地域福祉の充実を図ることについて、どのようにお考えか伺います。
県の推計では、本市の高齢化率は平成27年度で29.6%、その10年後の37年度で35.1%と、約3人に1人が高齢者となる見込であることから、地域包括支援センターの人的拡充は必要であり、今後十分に検討していきます。また、地域福祉の充実に向け、現在各地域で行われている活動事例を紹介し地域福祉活動の促進を図ります。そして、元気な高齢者の皆様に生涯現役で活躍いただく、支援を必要とされる方々を地域全体で支え合い、助け合える地域福祉活動につなげていくよう、対応を検討していきます。

また、団塊の世代が75歳以上になる10年後は、介護保険事業の総費用は2倍以上に膨らむと国が試算しており、いかに行政サービスを維持していくかが重要な問題です。そこで、行政や介護事業者ばかりでなく、地域のボランティアやNPOの方々にも担い手になってもらうことが肝要です。小学校区単位で社会福祉協議会を立ち上げた牛久

その他の質問事項
●県指定史跡「瓦塚」の国指定史跡化と公園化

地域経済活性化対策

ゆるキャラの制作を



たまよし みみ
玉造由美

問 石岡市の地域経済活性化といっても、特産物やスイーツを販売する目的だけでは、限界があると思います。いわゆる「ゆるキャラ」を作成して、インターネットでの情報発信、イベントなどを盛り上げてもらうことを提案します。

ゆるキャラは茨城県内でも28体が活躍していますが、色々な施設を訪問し一緒にダンスをするなど楽しんでもらい、市民を元気にすることができると考えます。また、ゆるキャラの存在で若者の郷土愛が育ち、それが地域経済の活性化にもつながると思いますが、どのようにお考えか伺います。

答 全国1200以上のゆるキャラのなかで、知名度が高く、経済効果が高いゆるキャラの特徴は、目標設定と仮説設定が明確であること、協働の意識を持つて持続的に進めていること、本筋の地域おこしがあり、ゆるキャラはあくまで脇役であることが挙げられます。そのため、漫然と事例に倣うのではなく、目標を定めた地域再生、観光振興計画の構築、市民と一体となり、一過性の事業とならないような取組を進める必要があります。

ゆるキャラの製作は若者へのアプローチや、郷土愛を育むことに力を発揮すると思いますが、観光の機運の高まりや、市民の声が強くなったときを捉えて、考えていきます。

その他の質問事項

- 児童虐待防止推進
- かん撲滅推進

一般質問

いっばんしつもん

市政運営に対する所信と選挙公約

公約の実現と市の財政状況



いけだまさひろ
池田正文

問 市長の基本的な政治姿勢として、市民一人ひとりの声を市政に反映させるため、新たにタウンミーティングを開催することですが、その地区選定やテーマ等はどうなるのか伺います。また、子育て応援プロジェクトでは、市長の公約に、預かり保育の無料化、ランドセルの支給、学校給食の無料化など非常に手厚い施策が挙げられています。が、財源の裏付けや実施時期を伺うとともに、当市の財政状況をどのように認識し、行財政改革大綱をどのようなもの

していくのか伺います。

答 タウンミーティングは、より身近にできる集会にしたいと考えています。基本的にふるさと再生を目指すうえでの課題や、まちづくりの方向性に関する意見交換の場として、声なき声をきちんと捉えていく姿勢が必要であると考えています。

子育て応援プロジェクトは、現在、制度設計の準備を進めているところで、実現可能な事業については積極的に26年度予算に組み込んでいきたいと考えています。

当市の財政状況は、健全ですが予断を許さない状況にあります。行政能力をさらに向上させ、公共サービスの最適化を図るために行財政改革大綱を策定します。そして、健全な財政計画を立て、効果的・効果的な行政運営を徹底していきます。

石岡市まちづくり構想

広域合併協議会の早期設置を



やまぐち あきら
山口 晟

問 市長は「市民と共に協働・共生」「人を招く石岡 地域資源活用」「市民と地域を守るまち 20年先の石岡のために」市民を応援するまち 元気・笑顔の石岡」「市民の暮らしの向上 地域経済の活性」と5つの公約をしましたが、これらをどのように実現していくのか。また、公共施設再配置計画の策定には、文化センターが含まれているのか伺います。

将来の石岡市のまちづくりを考えると、今から合併の準備をし、早目に広域合併協議会を設置すべきと思いますが、どのようにお考えか伺います。

答 必要な政策をプロジェクトとして位置付け、制度設計をしつかりと行い、環境が整ったものから順次取り組んでいきます。これらのプロジェクトを着実に進めることにより、公約を実現したいと考えています。また、公共施設再配置計画は、ハード面の現状だけでなく、トータルコストと行政サービスの実態の両面から調査し、外部の専門家や市民の声を聞きながら策定したいと考えています。なお、この計画は現存する施設が対象であり、文化センターは含まれていません。

人口減少時代をどう生きていくかがこれからの自治体に問われる課題です。広域合併は、近隣自治体や市民の意識醸成、国の道州制(※1)等の動向など、その機運が生まれる場合には対応していきます。

※1 都道府県を再編して道州をつくり、国から道州へ、都道府県から市町村へ大胆な分権を進める構想

石岡つくばねマラソン大会 全国ランニング大会100撰を目指して



ゆき たくらむら かつ 勝村孝

問 石岡つくばねマラソン大会の質問をこれまで行ってきました。当時の回答では、「交通規制の問題や駐車場の確保の関係で、募集定員の上限を見直すよう、今後、詳細な検討をしたい。また、距離を延長して、ハーフマラソンを目指すような考えがあり、研究したい」との積極的な回答がありました。私は、全国ランニング大会100撰を目指すべきと思います。その後、どのような調査研究が行われたのか、今後どのような大会にしているのか、その方向性を伺います。また、参加者や同伴者、応援者の楽しみ方をどのように提供していくお考えか伺います。

答 新コース構想案を策定していますが、ハーフマラソンを行うのに、実現可能な計画を作成したと思います。今年度から出発会場を変更することで、交通規制解除、迂回路確保など、安全な運営が可能です。また、会場付近にある施設の優待のほか、スूपやドリンクの無料提供、マッサージなどを実施します。会場変更によりブースの増設が可能なので、農産品等の提供など、より一層努力したいと思います。ハーフマラソンへの移行には、いくつかのハードルがありますが、地域活性化も含めたイメージの向上が考えられますので、検討をまいります。

その他の質問事項
●市長の政策方針の中で掲げた、若い人や働く世代が集まり、活気のあるまちの実現 ●公務員倫理の確保



お お つか かつ お 大槻勝男

選挙における投票所の見直し

投票しやすい環境整備を

問 市長選挙の投票率は53.19%と低いものでした。石岡市での各種選挙の投票率は低落傾向にあり、行政に対する期待が薄らいでいる現実を厳しく受けとめなければなりません。また、投票に行きたくても遠くで行けない、道が不便で行くのが面倒といった面倒といったことなども低い投票率の要因として考えられます。例えば、八郷地区のパセオパルクが含まれる投票所は、山崎構造改善センターですが、ここは駐車場や道路が狭く、投票所に行きたくないという声を聞きます。近くには

答 立派な集会所やコミュニティセンターがあるので、そちらに投票所を設けることはできないのか伺います。

答 本市では、合併前の両市町の投票区を引き継ぎ、石岡地区25、八郷地区27の合計52の投票所を設置しています。これまでに、地域住民からのご意見やご要望により投票所の場所を変更する場合は、選挙人の利便性、選挙執行管理の両面を踏まえ、現地確認等をして、選挙人の皆様混乱を来さないよう十分な周知を図ったうえで変更をさせていただきました。ご質問のパセオパルク区の投票所の増設、投票所の変更を希望する地域住民への対応ですが、投票所までの距離、投票所の設備、投票区の有権者数等の現状を検証し、また、地元や近隣の区長さんのご意見も伺いながら、他の投票区とのバランスを踏まえ、対応したいと考えています。

問 災害発生時の避難者対応で、避難所の開設基準、避難所に準備している物品、避難所の開設時間を伺います。また、避難所には1箇所は何人の職員が派遣されるのか。避難所の対応職員は近くに居住する職員なのか。避難所の鍵の管理をどのようにしているのか伺います。

答 本市では、石岡地区18箇所、八郷地区20箇所、計38箇所を避難所に指定しています。避難所の受入可能人数は約2万人で、避難所の防災倉庫には、缶入パンなど約1万8000食、飲料水1・5リットルペットボトル約5600本などを備蓄するとともに、石岡地区に耐震性貯水槽を9箇所、八郷地区に給水タンク18個を用意しています。避難所の開設は、地震の場合、震度5弱以上で、職員初動マニュアルに基づき、避難所近くの避難所開設担当職員2名が、自ら保管している鍵で地震発生後30分以内に避難所を開設し、運営班と合流して避難者対応にあたります。なお、防災ボックスは設置後の施設管理等の課題もあり、今後、先進事例の調査研究をしていきたいと考えています。

避難所の開設と運営 避難所開設遅れの対策を



お だけ たくし せき 忠口関

問 また、鍵の不具合による避難所開設遅れの対策として、地震の揺れに応じて自動的に開く防災ボックス設置が、三重県松坂市や東京都稲城市、神奈川市で取り入れられています。以前から検証をお願いしていますが、その経過を伺います。

答 本市では、石岡地区18箇所、八郷地区20箇所、計38箇所を避難所に指定しています。避難所の受入可能人数は約2万人で、避難所の防災倉庫には、缶入パンなど約1万8000食、飲料水1・5リットルペットボトル約5600本などを備蓄するとともに、石岡地区に耐震性貯水槽を9箇所、八郷地区に給水タンク18個を用意しています。避難所の開設は、地震の場合、震度5弱以上で、職員初動マニュアルに基づき、避難所近くの避難所開設担当職員2名が、自ら保管している鍵で地震発生後30分以内に避難所を開設し、運営班と合流して避難者対応にあたります。なお、防災ボックスは設置後の施設管理等の課題もあり、今後、先進事例の調査研究をしていきたいと考えています。

※2 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間資本を活用して行う手法

新市長の判断は 国民宿舎つくばねの改築事業



おかの野佐工

問 国民宿舎つくばねは、地域の生活利便施設との認識が定着し、存続すべきとの提言がこれまでに各所から出されています。平成22年10月の耐震診断判定結果から、耐震工事費の見込額が当初より大幅に増加し、残された耐用年数を考慮した中で、検討に検討を重ねているようですが、いまだ検討の結論が出ていないことは非常に残念です。国民宿舎の存続には、改築、新築などの高度な政治判断が必要ですが、どのようにお考えか伺います。

答 耐震診断調査後の機能存続に向けて、平成23年度にPFI（※2）事業等の調査、平成24年度

に地域資源再生生活活用調査を行ってきました。それらの調査結果を踏まえ、今後は、専門家を含めた検討機関を設け、PFIを含めた検討を進め、方向性を見出ししていきたいと考えます。国民宿舎つくばねの存続は選挙公約ですので、存続に向けた検討を進めるなかで、どのような手法があるのかを含め判断していきます。



▲国民宿舎つくばね

その他の質問事項
 ●朝日トンネル開通後のフルーツライン沿線の整備
 ●林産物の代表格であるシイタケ生産

女性が輝く社会に向けた取組

女性が働きやすい環境の整備を



たかの野要

問 平成18年3月に石岡市男女共同参画条例を制定し、平成20年3月に石岡市男女共同参画基本計画を策定して、目標達成に向け取り組んでまいりました。この5年半の取組内容と実績、成果をどのように捉えているか。計画策定後の女性職員の管理職登用状況と

今後の登用率上昇に向けた考え、育児休業の取得率、審議会等における女性の割合、市内小中学校における女性管理職の割合と、女性が働きやすい環境整備に向けたお考えを伺います。

答 5つの基本目標の達成状況を評価するために設定した成果指標7つのうち、6つが未達成という状況です。

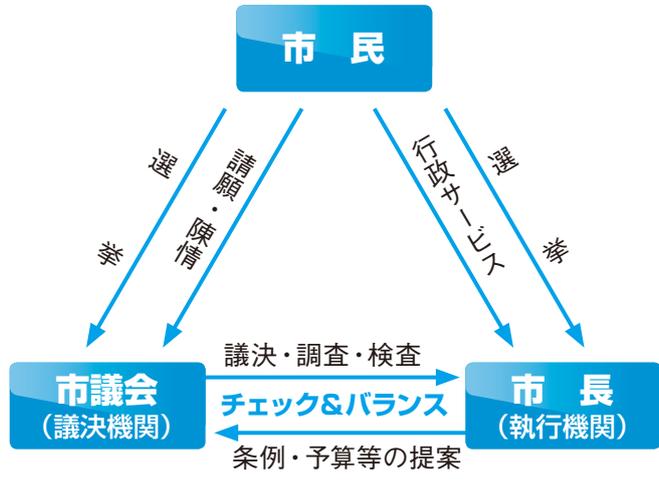
女性職員の管理職は、平成25年4月1日現在、管理職数131名中13名で、割合は9.9%。今後、登用率上昇に向け、ワークライフバランス（※3）の推進と性別に関係なく能力が発揮できる職場環境の整備に努めてまいります。

育児休業の取得率は、平成20年度からの対象者1377人に対し、取得率は28.5%。審議会等での女性登用状況は、平成25年4月1日現在で、委員総数344人中57人で、割合は16.6%。市内小中学校の女性管理職は、53名中4名で、割合は7.5%であり、県に働きかけ、環境整備を行ってまいります。

その他の質問事項
 ●屋台村事業 ●柏原工業団地の企業誘致

知りたい！市議会。 市議会と市長の関係

暮らしやまちづくりを、市民の皆さんに代わり、決定し実行していくのが、市議会（議決機関）と市長（執行機関）です。市議会と市長はそれぞれが市民の代表で、対等の関係です。また、それぞれの権限・役割が明確に区別され、チェック&バランス（※4）により市政を進めています。このことから、市議会と市長は、「車の両輪」に例えられ、お互いを尊重し合いながら、より良い市政を目指し努力をしています。



石岡市議会では、定例会ごとに会議の様子を掲載した「いしおか市議会だより」を発行しているほか、ホームページでも情報を公開しています。石岡市議会を検索してください。

<http://www8.ocn.ne.jp/~ishioka/> 石岡市議会

※3 人それぞれの希望に応じ、仕事と生活の調和がはかれること
 ※4 権力を分割し、相互の抑制と均衡によって政治権力の専制を防ぐ仕組み

●議案第159号 指定管理者の指定について

石岡市農産物直売センター 石岡そだち

関口 忠男

問 石岡そだちは平成8年に建設されました。その後消費動向も大きく変化しており、建設当時と比較して役割がずれてきたのではないかと。経営状況もあまりよくなり、管理運営を委託してまで費用対効果があるのか。

また、ひたち野農業協同組合は、大地のめぐみにもある中、大地のめぐみと石岡そだちの2店舗をこれから5年間運営していただけるのか。費用対効果を考えるよう、行政からも指導をしていくべきだと思えますが、どのようにお考えか伺います。

答 石岡そだちの経営状況は、大地のめぐみが平成24年9月にオープンした関係もあり、購買者数、農家販売額とも減少して



▲石岡そだち

いますが、地産地消の場として機能するとともに、購買者、出荷者双方に利便性のある施設としての役割を担っていますので、その意味からも費用対効果はあると考えています。

ひたち野農業協同組合は2店舗の運営に当たり、国道6号を境として東西に二分し、地産地消の場を維持していく方針であると伺っています。一方で、農協の広域合併に向けた協議が進められ、それらの情勢、動向を注視していく必要があると考えています。

●議案第103号 一般会計補正予算(第3号)

債務負担行為補正 「仮設庁舎建物借上料」

関 昭

問 市役所の窓口を移転した配置替で、市民に大変不便な思いをさせている状況かと思えますが、一応の市民サービスは可能であり、改めて仮設庁舎を造り、リースでお金を払うというのは納得ができません。やはり、新庁舎ができるまでの間は、市民も含めて、ある程度我慢をすべきだと思えます。仮設庁舎建物借上料の5億8980万円というのは大変高額なお金です。建物の仕様及び契約内容をご説明願います。また、もう少し縮小できないのか伺います。

あるべき部署を集約し、市民サービスの向上と事務の効率化を図ります。市役所駐車場に建設予定で、財源として震災復興特別交付税が適用となります。建物は、軽量鉄骨造、ブレース構造、プレハブ、陸屋根、3階建ての1棟で、延床面積は約2300平方メートルです。また、1段低い場所に建設するため、現在の仮設庁舎と新しい仮設庁舎の2階部分との間に連絡橋を設けます。新庁舎の速やかな完成を目指したいと考えていますが、建設工事の進捗に合わせ、仮設庁舎の賃貸借期間を調整したいと考えています。その短縮できた期間分の金利が軽減されると思っています。

答 新しい仮設庁舎の建設は、本庁舎が中破の判定を受け、来庁者や職員的安全を確保するために移転するものです。総合窓口機能や管理機能など本庁舎として、1箇所

●消費税率改正に伴う使用料等の改正議案 計33件

来年4月からの消費税増税 に関連した条例の改正

小松 豊正

問 ①各議案のそれぞれの計算式は、どのように試算したのか伺います。

②各議案では、どれだけの市民負担増となるのか伺います。

③総合計で、どれだけの市民負担増となるのか伺います。

円。フラワーパーク入園料577万5000円。国民宿舎つくばね利用料418万3000円。やさ温泉ゆりの郷利用料196万2000円。使用人数や利用人数の多いものの影響が大きくなります。

③影響額の総合計は、4255万4000円と見込んでいます。

答 ①今回の改正は、消費税率改定に伴う使用料等の改正によるものです。現在の使用料等の金額を1.05で割り、1.08を掛け、10円未満を切り捨てる統一した算式で算出しています。

②平成25年度当初予算と平成26年度の見込額の比較をすると、100万円以上の増額となるものは、33件中5件です。一番影響の大きいものは、下水道事業で1835万7000円。次に、水道料金1099万1000



その他の質問事項

- 市一般会計補正予算(第3号)
- 延滞金規定の見直しに関連した条例の改正
- 道路占用料徴収条例の一部改正

委員会の活動

●石岡市議会には、4つの常任委員会が置かれています。委員会は、それぞれ担当する部門をもっていて、それぞれが、市の業務内容の調査や、議案と請願・陳情の審査などを行っています。ここでは、各委員会の活動内容をご報告します。

●総務委員会

新聞軽減税率適用を求める陳情を審査

12月16日に開催した当委員会では、議案4件のほか、付託された「新聞購読料への消費税軽減税率適用に関する陳情」の審査を行いました。

陳情の趣旨は、新聞の社会的な役割と消費税増税による新聞離れの加速への懸念から、消費税の引上げに当たり複数税率を導入すること、新聞購読料への軽減税率の適用を求める意見書の提出を当議会に求めるものです。委員からは、陳情の趣旨を鑑み「願意は妥当である」との意見がある一方「軽減税率を適用すること、消費税引上げの目

的である社会保障と税の一体改革を後退させ、社会保障自体を手薄にする危惧がある」、「適用する商品の線引きが難しい」などの意見があり、審査の結果、不採択とすべきものと決しました。



●教育福祉委員会

議案の審査

12月13日の当委員会では、一般・特別会計補正予算、消費税法等の一部

改正に伴う市施設の使用料及び利用料金を改正する議案、指定管理者(※5)を指定する議案など21議案の審査を行いました。

使用料及び利用料金を改正する議案は、保健福祉部・教育委員会事務局の所管する市施設で、4月1日から消費税率が現行5%を8%に改正されることに伴う12議案の審査を行い、原案可決すべきものと決しました。

また、指定管理者を指定する議案では、いずれも原案可決すべきものとなりましたが、委員から「選定の透明性を高め説明責任を必ず果たすこと」「サービス水準の維持向上」「コスト削減のもたらす負の影響」「モ

ニタリング、評価の充実」「施設運営に携わる人の育成」を精査しながら進めて欲しいとの提言がありました。



▲柏原野球公園など市施設の使用料を改正

●環境経済委員会

指定管理者を指定する議案の審査

12月13日の当委員会では、南台・鹿の子・杉並の各コミュニティセンターの指定管理者の指定について審査を行いました。

コミュニティセンターは、地域住民の相互交流と教養文化の向上を図り、住みよいまちづくりを推進するための拠点施設として位置付けられています。それぞれ、地元住民

で組織される運営委員会を指定管理者として、平成26年4月1日から平成31年3月31日までの期間を指定するものです。

審査では「指定管理料の積算根拠」「管理体制」「施設の貸出基準」「類似公民館との違い」さらに「なぜ当該施設に限って、維持管理まで市が負担するのか」「今後、どうあるべきか」「不公平がないようなことを考えていただきたい」などの質問や意見が出されました。

執行部から「人件費や維持管理費の問題等、今後、調査検討していきたい」との答弁があり、審査の結果、原案可決すべきものと決しました。



▲鹿の子コミュニティセンターなど指定管理者を指定

●都市建設委員会

25年度の事業進捗状況

12月16日の当委員会では、委員会開会直後に現地視察を行った市道認定の議案や、消費税法の一部改正に伴う施設使用料金の改正を行う議案など、付託された議案12件の審査を行い、すべて原案可決すべきものと決しました。

そのほか、執行部からの平成25年度の事業進捗状況の説明を受け、委員から「農業集落排水の各地区の接続率が低いので、さらなる努力をして欲しい」「JR石岡駅の駅舎工事は、資材の高騰などにより工事の遅れが危惧されるが間に合うのか」などの意見がありました。



▲高浜地内での現地視察

請願&陳情

平成25年 第4回定例会で議題とした請願・陳情

件名	付託委員会	審議結果
県立高校の存続と高校の30人以下学級実現を求める意見書提出に関する請願 【請願の要旨】 県教育委員会では、高校の統廃合が必要としていますが、生徒数減少を理由に学校を統廃合してしまえば、地域のまちづくりにも大きな影響を及ぼします。一人ひとりの子どもたちが大切にされる教育を実現し、子どもたちが夢を持てる茨城県になることが保護者の願いです。 【委員長報告の要旨】 「妥当と思う反面、人数が減少しているなどの社会状況下での統廃合はやむを得ない」「生徒間同士で競争するために、1学級には相当数の生徒がいなければならない」などの意見がありました。 【委員会での審査結果】 不採択	教育福祉委員会	不採択
新聞購読料への消費税軽減税率適用に関する陳情 【陳情の要旨】 近年、活字離れが進み、書籍や新聞の購読率は低下傾向にあり、今回の増税で新聞離れが加速されることを懸念します。また、販売店の経営の悪化、従業員の雇用不安を招くことを危惧します。 【委員長報告の要旨】 「新聞は生活を潤わせるものではあるが、生活必需品であるとは判断できない」などの意見、願意妥当であるとの意見、陳情の前提である消費税増税の疑義を呈する意見がありました。 【委員会での審査結果】 不採択	総務委員会	不採択
中学3年生までの医療費助成制度の実現を求める陳情 【陳情の要旨】 成長期の子どもたちは怪我や病気になることがあります。昨今の経済状況から、子どもたちの医療費の負担が大変です。石岡市でも中学3年生まで、現在入院費のみの助成制度を通院費も含め、所得制限無しで助成制度の実現を陳情します。 【委員長報告の要旨】 「願意妥当であるが、本事業は恒久的に続けていくことになる事業なので、優先順位を間違えず、慎重な予算編成をお願いするとともに、早く実現をしてもらいたい」との意見がありました。 【委員会での審査結果】 採択	環境経済委員会	採択

※審議結果の欄は、付託委員会での審査結果報告を受けて本会議で表決をし、議会としての意思決定をした結果です。

平成26年

第1回定例会のお知らせ

平成26年第1回定例会は、この日程で開催する予定です。なお、放映の欄に「有」と記載されている会議は、本庁舎の1階ロビー、八郷総合支所の1階ロビー、まちかど情報センターで中継をご覧いただけます。



月日	曜	主な内容	場所	放映
2月25日	火	議案の提案理由説明など	本会議場	有
3月3日	月	一般質問	//	//
4日	火	一般質問	//	//
5日	水	一般質問	//	//
6日	木	議案質疑	//	//
7日	金	予算特別委員会	//	//
10日	月	予算特別委員会	//	//
11日	火	予算特別委員会	//	//
12日	水	予算特別委員会	//	//
13日	木	予算特別委員会	//	//
14日	金	常任委員会	委員会室	無
17日	月	常任委員会	//	//
18日	火	議会運営委員会	全員協議会室	//
20日	木	議案の採決など	本会議場	有

議会を傍聴してみませんか

石岡市議会では、本会議と常任委員会を一般に公開しており、議会の傍聴ができます。傍聴をご希望の方は、石岡市議会ホームページ、又は議会広報紙等に掲載される会議案内にて日程をご確認のうえ、本会議は八郷総合支所4階議場の「傍聴席入口」まで、常任委員会は八郷総合支所4階の「議会事務局」までおいでください。なお、傍聴は先着順となります。



写真：傍聴席

ご意見・ご感想

市議会だよりに関するご意見・ご感想や市議会へのご意見・ご要望をお受けしていますので、石岡市議会事務局までお寄せください。

あて先・お問い合わせ

石岡市議会事務局

〒315-0195 茨城県石岡市柿岡5680-1

Tel.0299-43-1111

E-mail: ishiokashigikai@muse.ocn.ne.jp

インターネットで会議録検索

石岡市議会



<http://www8.ocn.ne.jp/~ishioka/>



石岡市議会のホームページから、本会議や常任委員会等の会議録を読むことができます。

本会議の会議録は、合併した平成17年10月以降、また、平成3年から平成17年までの旧石岡市議会の会議録を掲載しています。石岡市議会ホームページの「会議録検索」から、発言者などの単語検索がご利用いただけます。